

# 社会学(松戸歯学部)

## 科目の特徴・ねらい

我々は「社会」とのかかわりの中で「人間らしさ」を身に付けてきました。つまり、「社会とのかかわりを拒否してしまえば自由な人間になれる」ということは有り得ず、かえって自分を「人間」以外の生物に変えてしまうことも考えられるのです。

「人間」として生きていくためには、自分を取り巻く「社会」のルール(法則性)を知ることが必要となります。同時に、周りの人々が何を考えているのか、自分は何を期待されているのか…ということも、常に意識していなくてはならないのです。

言い換えれば、世の中は「あなたの思い通りにいくものではない！」ということです。では、どうすれば良いのか?—そんな疑問が起きた時こそ「社会学」の世界に足を踏み入れる良い機会です。本講義は、1回の授業につき1つのトピック(聴講者にとって身近な話題)を、客観的に考察出来ることを目的としながら進めていきます。

**教科書** 服部慶亘著『ストレス・スパイラル—悩める時代の社会学』人間の科学社

**参考図書** 『人間社会の理論と構造』夏刈康男(ほか)著 学文社 2,500円(本体)

## 履修上の注意

講義内容を単なる「理論」として学ぶ学生よりも、「実践」を伴うものとして積極的に吸収しようとする意欲のある学生の参加を期待します。

## 試験方法・成績評価

定期試験および平常点によって総合評価します。ただし、出席状況の著しく悪い学生には単位認定しません。

## 達成目標

人間関係の社会的認識の手段として「社会学」的発想を身に付けてください。そのためには、90分の講義で得られた知識・技術をもとに、日常生活を考えていくことも必要となります。

## 学生へのメッセージ

ここまでの内容を読んで「そんな馬鹿な?!」と思った学生には、迷わず本講義の履修を勧めます。

回数	前期	後期	授業項目	授業内容・達成目標
1			社会(学)とは何か?	「社会」とは何であるのか…ということをはじめ、人間社会においては「原因」と「結果」が必ずしも一致するものではない(答えがひとつではない)ということ学びます
2			人間と社会	人間は「社会的動物」と呼ばれ、他の動物とは“かなり”異なる存在です。そして独りでは決して生きられない弱い存在です
3			科学的思考	人間は「パラダイム」にしたがって思考するといわれています。ところで、あなたは神を信じますか? お守りを持っていますか? 超能力を信じますか? 心霊写真を見ても平気ですか? カリスマを信じますか?
4			人間(human being)とは何か?	あなた、人間ですよ? 何でそう言い切れるのですか? 生きているから? それだけでは「人間」を名乗ることは出来ません。

5		人間関係の諸相と構造	人間、生命力のほかにも演技力がなければ「人間」として生きていくことは出来ません。では、どうやって演技すれば良いのでしょうか？
6		医療社会における地位と役割	よく「医者にはエライ」と言われますが、この世に病気というものが存在しないとしても「医師」という職業は成り立つのでしょうか？
7		社会意識	よく「常識」という言葉を使いますが、ではどういう意味ですか？ ルーズソックスは常識ですか？ 厚底ブーツに茶髪ガングロは常識ですか？
8		社会的事実	人を殺したらどうなりますか？ 警察に捕まる…。なるほど、そうですか？ ではあなた、人を殺したことが、警察に捕まったことがあるのですか？ ないのなら、なぜ結果がわかったんですか？
9	×	生活意識(日常性)	いつもとか「ふつう」という言葉の源は、いったいどこにあるのでしょうか？ もし、あなたの身の回りで「いつも」と違うこと、「ふつう」有り得ないことが起こったとしたら、どう対処すれば良いと思いますか？ そして、そのような「非日常」への心構えは出来ていますか？ その努力を怠ることによって、ストレスが発生します。
10	×	非日常性	傷つけるつもりで言ったはずではなかったのに、相手が怒ってしまった」とか「良かれと思ってやったのに、喜んでもらえなかった」という経験、誰にでもありますよね。そこに価値観の問題があるのです。
11		価値判断からの自由	価値観の違いから別れてしまったカップル、「こんなはずではなかった」と、相手に期待外れを覚えた人、その人たちは恋愛の手順を間違えているのです。
12		恋愛に伴う欲求と効果	「ストレス解消」「〇〇ストレス」などといいますが、では、「ストレス」っていったい何なのでしょう？ それさえわかっているなら、「ストレス」を感じないですんだのかも知れません。
13	×	ストレスとは何か？	ストレスに対処することを「コーピング」と言います。では、どうやってストレスに向き合えば良いのでしょうか？
14	×	ストレス(悩み)と「忘却」	結局、人間は人間との付き合いなしに生きてはいけません。そこで必要なのが「コミュニケーション」です。「コミュニケーション」という言葉も日常よく使われていますが、正しい意味を知らずにいると、全く予期せぬケンカに巻き込まれますよ。
15		コミュニケーションの構造	